

作成日 1997年 5月 1日
改訂日 2014年 3月 4日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

| | |
|------|---------------------------------|
| 製品名 | 電解液 S-105 |
| 会社名 | 株式会社 中央製作所 |
| 住 所 | 名古屋市瑞穂区内浜町24番1号 |
| 担当部署 | 研究開発部 |
| 電話番号 | 052-821-6196 F A X 052-823-2796 |
| 整理番号 | S - 1 0 5 |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

| | |
|----------|-------|
| 可燃性固体 | : 区分外 |
| 自然発火性固体 | : 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | : 区分外 |

健康に対する有害性

| | |
|-------------------|--------|
| 急性毒性（経口） | : 区分 4 |
| 皮膚腐食性・刺激性 | : 区分外 |
| 特定標的臓器/全身毒性（単回暴露） | : 区分 2 |
| 特定標的臓器/全身毒性（反復暴露） | : 区分 2 |

絵表示またはシンボル



| | |
|---------|--|
| 注意喚起語 | : 警告 |
| 危険有害性情報 | : 飲み込むと有害 中枢神経系の障害のおそれ 長期または反復暴露（中枢神経系）による甲状腺の障害のおそれ |

注意書き

| | |
|------|---|
| 安全対策 | : ミスト，蒸気などを吸入しない。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 |
| 救急処置 | : 飲み込んだ場合：口をすすぐ。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。 暴露した場合：医師の処置を受ける。 気分が悪いときは、医師の処置を受ける。 |
| 保管 | : 施錠して保管する。 |
| 廃棄 | : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。 |

3. 組成及び成分情報

| | |
|-------------|------------------------|
| 単一製品・混合物の区別 | 混合物 |
| 化学名（又は一般名） | チオシアン酸ナトリウム水溶液 |
| 成分及び含有量 | チオシアン酸ナトリウム 14% 水 86% |
| 化学特性（化学式） | NaSCN H ₂ O |
| 官報公示整理番号 | 1-160（化審法） |
| C A S No. | 540-72-7 |

| | |
|-----------|-----|
| 毒劇法 | 非該当 |
| P R T R 法 | 非該当 |

4. 応急措置

皮膚に付着した場合： 多量の水で十分に洗い流す。
 眼に入った場合： 直ちに流水で十分に洗い流す。
 飲み込んだ場合： 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤： この製品自体は燃焼しない。
 使ってはならない消化剤： 特に無し
 特定の消火方法： 周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
 消火を行う者の保護： 防火用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 必要に応じて保護めがね，手袋を着用する。
 環境に対する注意事項： 河川，湖沼に直接流入させない。
 除去方法： 大量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 眼，皮膚に触れないよう必要に応じて適切な保護具を着用する。
 保管
 適切な保管条件： 容器は密栓して冷暗所に保管する。
 安全な容器包装材料： ガラス，ポリエチレン，ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 取扱い場所近くに手洗い，洗顔設備を設け，その位置を明示する。
 管理濃度： 設定されていない。
 許容濃度： 日本産業衛生学会(2009年度版)： 設定されていない。
 A C G I H(2009年度版)： 設定されていない。
 保護具
 手の保護具： 必要ならば不浸透性保護手袋を着用する。
 眼の保護具： 必要ならばゴーグル型保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状： 液体
 色： 無色透明
 臭い： 無臭
 p H： 6.5～7.5

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

沸点： 約 100℃
 引火点： 不燃性である。 発火点： 無し
 密度： 1.09
 溶媒に対する溶解性： アセトン，エチルアルコールに可溶。

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常条件で安定である。
 避けるべき条件 : 日光, 熱
 混触危険物質 : 酸化剤
 危険有害な分解生成物 : 結晶を加熱すると窒素酸化物, 硫黄酸化物を生成する。

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 飲み込むと有害 (区分4)
 経皮 : データ不足のため分類できない。
 吸入 (蒸気) : データ不足のため分類できない。
 吸入 (ミスト) : データ不足のため分類できない。
 ラット 経口 LD50=764mg/kg
 皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
 水溶液の pH はほぼ中性であり, 区分外とした。
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データ不足のため分類できない。
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない。
 皮膚感作性 : データ不足のため分類できない。
 生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない。
 発がん性 : データ不足のため分類できない。
 生殖毒性 : データ不足のため分類できない。
 特定標的臓器・全身毒性－単回暴露 : 中枢神経系の障害のおそれ (区分2)
 中枢神経系に影響を与え, 興奮, 痙攣を生じることがある。
 特定標的臓器・全身毒性－反復暴露 : 長期または反復暴露による中枢神経系, 甲状腺の障害のおそれ (区分2)
 中枢神経系, 甲状腺に影響を与え, 機能障害, 甲状腺機能低下を生じることがある。
 吸引性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

- 生体毒性
 魚毒性 : 水生毒性 (急性) : データ不足のため分類できない。
 水生毒性 (慢性) : データ不足のため分類できない。
 残留性/分解性 : 難分解性でないと判断される物質である。
 土壌中の移動性 : データなし

13. 廃棄上の注意

- 測定後の液 : 水で希釈(20倍以上)して排出する。排水処理装置がある場合は, そのまま酸アルカリ系に排出する。
 未使用液 : 水で希釈(20倍以上)して排出する。
 排水処理装置がある場合は, そのまま酸アルカリ系に排出する。
 空容器は内容物を水洗いした後, 産業廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意

- 国連分類 : 分類基準に該当しない。
 国内規制 : 適用法令無し。
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器に漏れの無いことを確かめ, 転倒, 落下, 損傷が無い

ように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法：非該当
毒物及び劇物取締法：非該当
労働安全衛生法：非該当
消防法：非該当

16. その他の情報

引用文献

- ① **Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed N.I.Sax** 他編
- ② 15710の化学商品, 化学工業日報社(2010)
- ③ 化学大辞典 共立出版社(1963)

- * この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。
- また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。
- なお、注意事項は通常の手配を対象としたものであり、特殊な手配をする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。